



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社サイトリ細胞研究所  
コード番号 3750 URL <https://www.cytori.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星野 喜宏  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 藤村 剛 TEL 03-6860-5701  
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,560	27.2	772		906		138	
2023年3月期	2,144	60.6	794		862		1,059	

(注) 包括利益 2024年3月期 139百万円 ( %) 2023年3月期 1,059百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	15.47	15.42	5.5	9.1	49.5
2023年3月期	118.71		35.6	5.7	37.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	5,816	2,795	44.3	288.89
2023年3月期	14,091	2,656	17.3	273.41

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,579百万円 2023年3月期 2,441百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,152	8,689	7,172	1,038
2023年3月期	39	283	294	673

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期		0.00		0.00	0.00			
2025年3月期(予想)								

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,284	17.7	84		87		103	25.4	11.54

## 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期	8,929,419 株	2023年3月期	8,929,419 株
2024年3月期	1,150 株	2023年3月期	925 株
2024年3月期	8,928,377 株	2023年3月期	8,928,548 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は緩やかな回復を示しました。年度前半において新型コロナウイルス感染症が収束傾向となり、インバウンドを含めた人、物流の活性化により国内景気は持ち直しの動きを加速させております。しかしながら各段階における物価の上昇や円安の定着傾向が年度後半にかけて徐々に国内消費への影響を見せ始めているとともに、依然として終息を見せない欧州や中東における紛争が世界経済の不確実性を増すことで、日本経済にも影響を与えるリスクが存在しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力し、積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,560百万円（前連結会計年度比27.2%減）、営業損失は772百万円（前連結会計年度 営業損失794百万円）、経常損失は906百万円（前連結会計年度 経常損失862百万円）となり、固定資産売却益605百万円を計上したものの、減損損失336百万円、匿名組合損益分配487百万円等を計上したことに伴い、税金等調整前当期純損失は1,093百万円（前連結会計年度 税金等調整前当期純損失1,166百万円）となりました。また、売却対象固定資産の時価評価差額に基づく繰延税金負債の戻入により、法人税等調整額1,236百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は138百万円（前連結会計年度 親会社株主に帰属する当期純損失1,059百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### （メディカル事業）

当連結会計年度におけるメディカル事業は、引き続き医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスⅢとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関や大学病院他へ積極的に販売してまいりました。しかしながら、アライアンス先の選定及び細胞治療サービスの提供開始が当初想定より大幅に後れていること等により、当連結会計年度のメディカル事業の売上高は126百万円（前連結会計年度比46.9%減）にとどまりました。

営業損益につきましては、売上計画の未達とともに国内の治験に係る費用が嵩み、営業損失は555百万円（前連結会計年度 営業損失403百万円）となりました。

#### （リアルアセット事業）

当連結会計年度におけるリアルアセット事業は、匿名組合出資持分の売却等の発生がなかったため当連結会計年度の売上高は1,434百万円（前連結会計年度比24.8%減）となりました。

営業損益につきましては、㈱サテライト名古屋における販管費の負担が大きく、営業損失30百万円（前連結会計年度 営業損失229百万円）を計上することとなりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における流動資産は1,427百万円となり、前連結会計年度末より39百万円増加いたしました。固定資産は4,388百万円となり、前連結会計年度末より8,314百万円減少いたしました。これは主に、ホテル金沢㈱におけるホテル不動産の売却及び子会社に対するのれんの一括処理によるものであります。

この結果、総資産は5,816百万円となり、前連結会計年度末より8,275百万円減少いたしました。

当連結会計年度末における流動負債は536百万円となり、前連結会計年度末より637百万円減少いたしました。主な要因は1年内長期借入金含む短期借入金の返済による減少であります。

固定負債は2,484百万円となり、前連結会計年度末より7,776百万円減少いたしました。これは主にホテル金沢㈱の不動産売却資金による長期借入金全額返済及び匿名組合出資金の返還によるものであります。

この結果、負債合計は3,020百万円となり、前連結会計年度末より8,414百万円減少いたしました。

純資産は、2,795百万円となり、前連結会計年度末より138百万円増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期より引き続き、経営立て直しのための設備投資の強化のための資金拠出と併せ、経営資源の集中を目的とした不動産アセットの売却による資金回収等により、前連結会計年度末に比べ365百万円増加し、当連結会計年度末には1,038百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、減少した資金は1,152百万円（前連結会計年度は39百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、増加した資金は8,689百万円（前連結会計年度は283百万円の減少）となりました。これは主に、ホテル不動産の売却による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、減少した資金は7,172百万円（前連結会計年度は294百万円の増加）となりました。これは主に長短借入金返済及び匿名組合出資金の返還によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
自己資本比率（%）	24.6	22.3	21.9	17.3	44.3
時価ベースの自己資本比率（%）	44.0	84.1	64.7	71.8	148.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	16.5	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	9.2	—	—	—	—

（注）・自己資本比率：自己資本／総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値× 期末発行済株式総数により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の収束からほぼ1年が経過し、人流、物流含めた経済活動がさらに活発化していくことが期待されますが、原材料価格の高騰や物価上昇等を背景に世界経済の先行きは不透明感が増しております。

このような状況のもと、当社グループでは、細胞治療を主軸とした医療サービスビジネスモデルへの転換を早期に進めるとともに、残存不動産についても売却を進めアセット事業からの完全なるシフトを目指してまいります。

2025年3月期の連結業績につきましては、売上高1,284百万円（当連結会計年度比17.7%減）、営業損失84百万円（当連結会計年度は営業損失772百万円）、経常損失87百万円（当連結会計年度は経常損失906百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益103百万円（当連結会計年度比22.6%減）を見込んでおります。

配当金につきまして、当社は将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案して、適正な利益還元に努めております。つきましては、誠に遺憾ではございますが、2024年3月期の期末配当金を無配とさせていただきます。

当業績予想等は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループでは現在の医療機器の販売中心のビジネスモデルから細胞治療を主軸とした医療サービスへのシフトを加速し、引き続き収益の改善に取り組んでまいります。

資金面につきましては、当連結会計年度末において1,038百万円の現金及び預金を保有しており、当面の事業資金を確保しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、連結財務諸表への注記は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,123,050	1,038,227
売掛金	113,144	58,332
商品	116,211	103,534
その他	35,793	227,590
流動資産合計	1,388,200	1,427,684
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,231,334	980,937
土地	7,252,244	3,170,055
その他（純額）	243,607	66,544
有形固定資産合計	11,727,186	4,217,538
無形固定資産		
のれん	647,145	-
その他	41,682	21,258
無形固定資産合計	688,828	21,258
投資その他の資産		
繰延税金資産	157,035	-
その他	130,384	149,853
投資その他の資産合計	287,419	149,853
固定資産合計	12,703,434	4,388,649
資産合計	14,091,635	5,816,334
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	500,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	401,237	54,685
その他	272,386	411,498
流動負債合計	1,173,624	536,184
固定負債		
長期借入金	7,605,855	2,347,079
匿名組合出資預り金	1,078,884	319
繰延税金負債	1,436,377	125,108
その他	140,212	12,056
固定負債合計	10,261,328	2,484,563
負債合計	11,434,953	3,020,747
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,939,268	2,939,268
利益剰余金	△596,921	△458,765
自己株式	△1,240	△1,485
株主資本合計	2,441,106	2,579,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	276
その他の包括利益累計額合計	66	276
新株予約権	211,501	211,501
非支配株主持分	4,007	4,791
純資産合計	2,656,682	2,795,586
負債純資産合計	14,091,635	5,816,334

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,144,712	1,560,388
売上原価	875,724	267,777
売上総利益	1,268,988	1,292,611
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	447,389	364,138
減価償却費	280,383	208,378
試験研究費	145,235	351,353
その他	1,190,339	1,141,482
販売費及び一般管理費合計	2,063,348	2,065,353
営業損失(△)	△794,359	△772,742
営業外収益		
受取保険金	-	3,085
利子補給金	-	4,332
助成金収入	76,870	1,300
役員退職慰労引当金戻入額	-	2,585
その他	9,841	11,438
営業外収益合計	86,712	22,741
営業外費用		
支払利息	129,241	153,811
アレンジメントフィー	25,000	-
その他	319	2,851
営業外費用合計	154,561	156,663
経常損失(△)	△862,208	△906,664
特別利益		
固定資産売却益	-	605,515
債務免除益	-	48,441
その他	0	-
特別利益合計	0	653,956
特別損失		
関係会社出資金売却損	107,628	-
減損損失	205,479	336,283
その他	2,374	17,756
特別損失合計	315,481	354,040
匿名組合損益分配前税金等調整前当期純損失(△)	△1,177,690	△606,748
匿名組合損益分配額	△11,614	487,006
税金等調整前当期純損失(△)	△1,166,076	△1,093,754
法人税、住民税及び事業税	1,976	4,190
法人税等調整額	△108,321	△1,236,884
法人税等合計	△106,344	△1,232,693
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,059,731	138,939
非支配株主に帰属する当期純利益	209	783
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,059,941	138,155



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,059,731	138,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	210
その他の包括利益合計	△1	210
包括利益	△1,059,733	139,149
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,059,942	138,365
非支配株主に係る包括利益	209	783

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,939,268	462,800	△982	3,501,085
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,059,941		△1,059,941
自己株式の取得				△257	△257
連結範囲の変動			220		220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	△1,059,721	△257	△1,059,978
当期末残高	100,000	2,939,268	△596,921	△1,240	2,441,106

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	67	67	211,501	3,798	3,716,452
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		—			△1,059,941
自己株式の取得		—			△257
連結範囲の変動		—			220
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1	△1		209	208
当期変動額合計	△1	△1	—	209	△1,059,770
当期末残高	66	66	211,501	4,007	2,656,682

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,939,268	△596,921	△1,240	2,441,106
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			138,155		138,155
自己株式の取得				△245	△245
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	138,155	△245	137,910
当期末残高	100,000	2,939,268	△458,765	△1,485	2,579,016

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	66	66	211,501	4,007	2,656,682
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益		—			138,155
自己株式の取得		—			△245
連結範囲の変動		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	210	210		783	993
当期変動額合計	210	210	—	783	138,903
当期末残高	276	276	211,501	4,791	2,795,586

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,166,076	△1,093,754
減価償却費	285,559	208,378
減損損失	205,479	336,283
のれん償却額	45,932	45,932
支払利息	129,241	153,811
固定資産売却益	—	△605,515
債務免除益	107,628	△48,441
棚卸資産の増減額(△は増加)	88,654	15,213
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	337,667	—
未払又は未収消費税等の増減額	34,831	192,257
その他	15,861	△91,063
小計	84,778	△886,898
利息の支払額	△120,833	△157,574
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,463	△107,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,518	△1,152,230
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300,000	△150,000
定期預金の払戻による収入	—	600,000
有形固定資産の取得による支出	△158,520	△16,256
有形固定資産の売却による収入	—	8,290,214
投資有価証券の取得による支出	△22,863	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	198,497	1,000
その他	△180	△33,978
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,065	8,689,978
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	500,000	220,000
短期借入金の返済による支出	—	△650,000
長期借入れによる収入	2,540,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,800,841	△5,605,326
匿名組合員からの払込みによる収入	55,264	—
匿名組合出資金の払込による支出	—	△1,137,000
その他	△195	△245
財務活動によるキャッシュ・フロー	294,227	△7,172,572
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△28,356	365,176
現金及び現金同等物の期首残高	701,558	673,050
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△150	—
現金及び現金同等物の期末残高	673,050	1,038,227

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に経済的特徴や製品・サービスの内容等を総合的に勘案して事業セグメントを集約し、「メディカル事業」「リアルアセット事業」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は以下のとおりです。

- ・「メディカル事業」 : 再生医療事業への投資
- ・「リアルアセット事業」 : 主に不動産売買、不動産事業プロジェクトへの投資、ホテルビジネス

2. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの損失は、営業損失ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	メディカル 事業	リアルアセット 事業	計		
売上高					
メディカル	237,984	—	237,984	—	237,984
ホテル業	—	1,039,749	1,039,749	—	1,039,749
不動産業	—	841,309	841,309	—	841,309
顧客との契約から生じる収益	237,984	1,881,059	2,119,044	—	2,119,044
その他の収益	—	25,668	25,668	—	25,668
外部顧客への売上高	237,984	1,906,728	2,144,712	—	2,144,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	237,984	1,906,728	2,144,712	—	2,144,712
セグメント損失(△)	△403,210	△229,899	△633,109	△161,250	△794,359
セグメント資産	454,558	13,002,273	13,456,831	634,803	14,091,635
その他の項目					
減価償却費	15,385	269,548	284,934	625	285,559
のれん償却額	11,073	34,858	45,932	—	45,932
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	53,674	110,445	164,120	—	164,120

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	メディカル 事業	リアルアセット 事業	計		
売上高					
メディカル	126,374	—	126,374	—	126,374
ホテル業	—	1,124,771	1,124,771	—	1,124,771
不動産業	—	252,626	252,626	—	252,626
顧客との契約から生じる収益	126,374	1,377,397	1,503,771	—	1,503,771
その他の収益	—	56,616	56,616	—	56,616
外部顧客への売上高	126,374	1,434,014	1,560,388	—	1,560,388
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—
計	126,374	1,434,014	1,560,388	—	1,560,388
セグメント損失 (△)	△555,931	△30,923	△586,855	△185,887	△772,742
セグメント資産	373,154	4,761,579	5,134,733	681,600	5,816,334
その他の項目					
減価償却費	15,146	192,703	207,850	528	208,378
のれん償却額	11,073	34,858	45,932	—	45,932
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	2,625	—	2,625	—	2,625

- (注) 1 前連結会計年度のセグメント損失の調整額△161,250千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 当連結会計年度のセグメント損失の調整額△185,887千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
G社 (注)	313,883	リアルアセット事業

(注) 守秘義務を負っているため、社名の公表は控えさせていただきます。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高10%以上を占める顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	メディカル事業	リアルアセット事業	その他（注）	合計
減損損失	—	199,183	6,295	205,479

（注）「その他」の金額は、各報告セグメントに含まれない全社資産に係るものであります。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	メディカル事業	リアルアセット事業	その他（注）	合計
減損損失	82,912	253,371	—	336,283

（注）「その他」の金額は、各報告セグメントに含まれない全社資産に係るものであります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	メディカル事業	リアルアセット事業	合計
当期末残高	71,976	575,169	647,145

（注）のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

（注）1 メディカル事業ののれんにつきましては、減損処理を行ったため当期末残高はありません。

リアルアセット事業につきましては、対象のホテル不動産の売却に合わせて不動産の評価見合いとして計上していたのれんを一括処理したため、当期末残高はありません。

2 のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。



(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	273円41銭	288円89銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△118円71銭	15円47銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	15円42銭

(注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しますが1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額	2,656,682千円	2,795,586千円
純資産の部の合計額から控除する金額	215,509千円	216,293千円
(うち新株予約権)	( 211,501千円 )	( 211,501千円 )
(うち非支配株主持分)	( 4,007千円 )	( 4,791千円 )
普通株式に係る期末の純資産額	2,441,173千円	2,579,293千円
1株当たり純資産の算定に用いられた期末の普通株式の数	8,928,494株	8,928,269株

3 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,059,941千円	138,155千円
普通株主に帰属しない金額	—千円	—千円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,059,941千円	138,155千円
普通株式の期中平均株式数	8,928,548株	8,928,377株
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数	—	30,482株
(うち新株予約権)	—	(30,482株)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。